

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		北海道 深川市					
プ ラ ン の 名 称		深川市立病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 25日 (平成23年3月変更)					
対 象 期 間		平成 20年度 ~ 平成 27年度					
病院 の 現 状	病 院 名	深川市立病院					
	所 在 地	深川市6条6番1号					
	病 床 数	270床(一般266床、感染4床)					
	診 療 科 目	内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、肛門科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		第二次医療圏の北空知圏域における中核病院として、救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療、感染症医療など、圏域内の他の医療機関では提供できない医療機能の維持と病院経営の両立に努める。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		○「地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)」及び地方交付税基準財政需要額算入内容を基本とする。 なお、周産期医療、小児医療、救急医療、単年度収支均衡支援については、内容の充実に努める。  ○特別支援 ・病院改築事業償還金の病院負担分の1/2(H20~) ・病院事業会計を除く職員等の給与費及び報酬等の平均5%相当額(H20~) ・累積不良債務解消支援(H22~)					
経営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	22年度見込	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	経常収支比率	83.6%	88.4%	89.6%	93.4%	96.3%	96.2%
	職員給与費比率	58.6%	57.4%	57.1%	56.6%	56.5%	56.4%
	病床利用率	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%
	医業収支比率	78.0%	82.6%	83.9%	87.6%	90.6%	90.6%
	医療材料比率	18.7%	18.4%	18.4%	18.5%	18.4%	18.5%
	不良債務比率	46.2%	39.6%	34.8%	29.6%	24.0%	18.5%
	減価償却費を除く経常収支比率	98.4%	102.6%	102.9%	103.4%	103.7%	103.7%
上記目標数値設定の考え方		地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)に基づき、平成22年3月に策定した経営健全化計画の数値を目標値とした。					

				団体名 (病院名)	北海道深川市 (深川市立病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		22年度見込	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
救急患者取扱い件数		5,180	5,180	5,180	5,180	5,180	5,180
救急自動車搬送件数		810	810	810	810	810	810
1日平均外来患者数		620	620	620	620	620	620
1日平均入院患者数		188	188	188	188	188	188
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営規律の遵守(H22年4月)</li> <li>・計画と実績の乖離及び原因等の分析、評価、目標管理の実施(H22年4月)</li> <li>・組織及び職員配置の見直し(H22年4月)</li> </ul>				
		事業規模・形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床数の削減 305床→270床(H20年7月)</li> <li>・1病棟を休床する(H22年3月)</li> </ul>				
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員給与の独自削減(H20年7月)</li> <li>・時間外手当の削減(H21年4月)</li> <li>・フィルムレスシステムを導入しフィルム購入費を削減(H21年4月)</li> <li>・光熱水費等経費の節約(H21年4月)</li> <li>・業務委託の見直し、拡大による経費削減(H21年4月)</li> <li>・在庫管理の徹底による材料費の削減(H22年4月)</li> <li>・医療機器等の有効活用(H22年4月)</li> <li>など</li> </ul>				
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種加算等の取得(H21年4月)</li> <li>・地域連携事業等の実施(H22年4月)</li> <li>・7対1入院基本料の算定(H22年9月)</li> <li>・人間ドック等の受診者の増(H21年4月)</li> <li>・使用料手数料などの見直し(H21年4月)</li> <li>・未収金発生の防止、徴収強化(H23年4月)</li> <li>など</li> </ul>				
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師確保対策の強化(H22年4月)</li> <li>・診療情報、経営情報などの市民周知(H22年4月)</li> <li>・病院支援ボランティア組織の立ち上げ(H22年4月)</li> <li>など</li> </ul>				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	20年度	79.6%	21年度	73.3%	22年度見込	69.6%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<p>○病床数の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H20年7月1日 一般病床35床削減</li> <li>・H22年3月24日 1病棟閉鎖、稼動病床数203床</li> </ul> <p>・稼動病床における病床利用率は、H22年度 92.6%と高率であることから、今後、稼動病床利用率の状況を見極めつつ、適時適正な病床数の維持確保に努める。</p>					

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	・公立病院: 深川市立病院 ・公的病院: 沼田厚生病院
	都道府県医療計画等における今後の方向性	深川市立病院は、地域センター病院であり、区域内の中核的医療機関としての役割を果たしていることから、今後とも一定の機能の維持が必要である。 しかしながら、同病院は不良債務があり、その額も急増しているため、他の医療機関との連携のもとに、区域全体で同病院が担うべき役割を検討する必要がある。
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要  (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	＜時 期＞  ＜内 容＞  具体的な計画は未定 ①検討・協議の方向性 ・北空知自治体病院等広域化・連携検討会議が取りまとめた報告書の内容を踏まえ検討 ②検討・協議体制 ・北空知自治体病院等広域化・連携検討会議、庁内・院内検討組織、有識者等による検討組織など ③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期 ・H25年度末までに一定の結論を得る予定
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況  (該当箇所には☑を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人  <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態の見直し(検討)の方向性  (該当箇所には☑を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度  <input checked="" type="checkbox"/> 民間譲渡 <hr/> <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要  (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	＜時 期＞  ＜内 容＞  具体的な計画は未定 ①検討・協議の方向性 ・経営効率や患者サービスの向上、迅速かつ機動的経営を行うに最もふさわしい経営形態 ②検討・協議体制 ・庁内・院内検討組織及び有識者等による検討組織など ③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期 ・H25年度末までに一定の結論を得る予定
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	・点検: 院内点検評価組織 ・評価: 院内点検評価組織及び有識者等による外部評価委員会 ・公表: 市立病院ホームページ
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	・点検: 毎年6月、10月 ・評価: 毎年6月～8月
その他特記事項		

(別紙)

団体名 (病院名)	深川市 (深川市立病院)
--------------	-----------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分		年度					
		22年度(見込)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	3,642	3,701	3,698	3,694	3,694	3,691
	(1) 料 金 収 入	3,464	3,524	3,521	3,517	3,517	3,514
	(2) そ の 他	178	177	177	177	177	177
	うち他会計負担金	58	58	58	58	58	58
	2. 医 業 外 収 益	517	526	514	507	501	495
	(1) 他会計負担金・補助金	466	476	463	456	450	444
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	5	6	6	6	6	6
	(3) そ の 他	46	44	45	45	45	45
	経 常 収 益 (A)	4,159	4,227	4,212	4,201	4,195	4,186
	支 出	1. 医 業 費 用 b	4,668	4,483	4,406	4,216	4,078
(1) 職 員 給 与 費 c		2,133	2,126	2,110	2,092	2,086	2,080
(2) 材 料 費		682	680	681	682	681	682
(3) 経 費		1,085	1,000	995	990	983	982
(4) 減 価 償 却 費		751	662	605	437	313	316
(5) そ の 他		17	15	15	15	15	15
2. 医 業 外 費 用		309	300	293	283	280	277
(1) 支 払 利 息		223	209	202	192	189	186
(2) そ の 他		86	91	91	91	91	91
経 常 費 用 (B)		4,977	4,783	4,699	4,499	4,358	4,352
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	▲ 818	▲ 556	▲ 487	▲ 298	▲ 163	▲ 166	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	185	185	185	185	185	185
	2. 特 別 損 失 (E)	7	5	5	5	5	5
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	178	180	180	180	180	180
純 損 益 (C)+(F)	▲ 640	▲ 376	▲ 307	▲ 118	17	14	
累 積 欠 損 金 (G)	7,941	8,317	8,624	8,742	8,725	8,711	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	604	611	588	583	588	591
	流 動 負 債 (イ)	2,287	2,076	1,876	1,675	1,474	1,274
	うち一時借入金	2,060	1,860	1,660	1,460	1,260	1,060
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引不良債務 (オ) {(イ)-(エ)}-[(ア)-(ウ)]	1,683	1,465	1,288	1,092	886	683	
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	2	▲ 218	▲ 177	▲ 196	▲ 206	▲ 203	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	83.6	88.4	89.6	93.4	96.3	96.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	46.2	39.6	34.8	29.6	24.0	18.5	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	78.0	82.6	83.9	87.6	90.6	90.6	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	58.6	57.4	57.1	56.6	56.5	56.4	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	1,683	1,465	1,288	1,092	886	683	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	46.2	39.6	34.8	29.6	24.0	18.5	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	46.2	39.6	34.8	29.6	24.0	18.5	
病 床 利 用 率	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%	69.6%	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	深川市 (深川市立病院)
--------------	-----------------

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分	年度	22年度(見込)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収 入	1. 企業債						
	2. 他会計出資金	382	344	325	331	337	343
	3. 他会計負担金						
	4. 他会計借入金						
	5. 他会計補助金						
	6. 国(県)補助金						
	7. その他	10	11	11	11	11	11
	収入計 (a)	392	355	336	342	348	354
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	392	355	336	342	348	354	
支 出	1. 建設改良費	25	35	95	95	95	95
	2. 企業債償還金	464	371	346	353	360	368
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	24	22	22	22	22	22
	支出計 (B)	513	428	463	470	477	485
差引不足額 (B)-(A) (C)	121	73	127	128	129	131	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金						
	2. 利益剰余金処分量						
	3. 繰越工事資金						
	4. その他						
計 (D)	0	0	0	0	0	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	121	73	127	128	129	131	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)	121	73	127	128	129	131	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	22年度(見込)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収益的収支	(215,764)	(214,449)	(213,324)	(212,279)	(211,213)	(210,126)
	709,954	718,406	706,755	699,205	693,274	687,186
資本的収支	(84,588)	(59,909)	(52,705)	(53,749)	(54,815)	(55,902)
	381,989	343,915	325,241	331,058	337,002	343,078
合計	(300,352)	(274,358)	(266,029)	(266,028)	(266,028)	(266,028)
	1,091,943	1,062,321	1,031,996	1,030,263	1,030,276	1,030,264

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。